

2020年9月2日



トヨタモビリティ東京株式会社

災害時の給電車両として都内全域にプリウスPHVを70台配備

トヨタモビリティ東京株式会社（社長 片山 守）は、近年の自然災害の甚大化 および首都圏での大規模災害発災に備え、都内全域に外部給電が可能な「プリウス PHV」を70台配備することを決定した。

昨年9月の台風災害の際、当社は広域停電に見舞われた千葉県内の被災自治体に、外部給電が可能なプリウス PHV やプリウス 22 台を無償で提供し、災害復旧に役立てた経験から、「東京が被災した際も同様のニーズがある」と考え、プリウス PHV を都内4 km 四方の店舗に1台、計70台を順次配備することとした。プリウス PHV は、ガソリンが満タンであれば、1台で一般家庭4~5日分の電力を供給することができる。災害時、避難所等への電力供給を課題とする行政に、いつでも貸し出せる体制を整える。

行政への提案活動を進める中で、この取り組みに賛同頂いた練馬区、中央区と災害時連携協定を締結することで合意し、9月1日（火）の防災の日に協定締結式を実施した。

練馬区では、練馬区の前川 耀男 区長と、当社 社長の片山が調印式に出席。協定書に調印したのち、前川区長より「緊急時に近隣店舗にある車両や充電器を使わせて頂けることはありがたい」との謝辞を頂いた。

式典後、練馬区内に配備予定のプリウス PHV 3 台から、災害時に避難所で使用する投光器や大型扇風機に給電するデモンストレーションを実施。練馬区の公式アニメキャラクター「ねり丸」と、当社交通安全キャラクターの「あんぜんナンバーワン!くん」も参加、扇風機の羽根が回り出すのを見た見学者からは「こんなに静かに給電できるんですね」などのコメントが聞かれた。

また、中央区では、中央区 総務部 危機管理課長 菅沼雅広様と、当社 総合企画部長 藤田昌久が代理で協定書に調印、今後の連携と協力を確認した。

当社は、災害に強い街づくり支援の一環としてプリウス PHV の配備を進めると共に、順次、都内各行政と同様の協定締結も促進してゆく。

(裏面あり)

トヨタ モビリティ東京株式会社

<https://www.toyota-mobi-tokyo.co.jp>

ご取材の問い合わせ：CSR推進部広報グループ 中川

TEL 03-5439-2430 FAX 03-5439-8244



<締結式の様子（右）練馬区 前川区長（左）当社 片山社長>



<練馬区役所前での給電デモンストレーションの様子>



<中央区 菅沼課長（右）と当社 藤田部長（左）>